

世界へ羽ばたく人財を目指して

～本校初！海外修学旅行～

1年次修学旅行 in 台湾

＜旅行日程＞

12月16日	福岡空港より台湾桃園国際空港へ
12月17日	龍山寺、中正紀念堂見学
12月18日	忠烈祠、故宮博物院見学
12月19日	桃園市私立六和高級中學との交流
12月20日	桃園国際空港から帰国の途へ

昨年十二月十六日から十九日の三泊四日の日程で、台湾への修学旅行が実現しました。海外への修学旅行は本校開校以来初の試みとなりました。

NTTと熊本県が進める「ICTつながる学校」事業では、室小学校和台湾大同國民小學とが連携を深めるなど、地元大津町と台湾高雄市との交流が続いています。

同窓会でも、海外研修を志す生徒への協力を行っています。母校から海外で活躍する人材を育てていくことが、翔陽高校の益々の発展に繋がっていくことでしょう。



六和高級中學からの記念品



六和高級中學の生徒との交流の一コマ



忠烈祠の見学

全国大会結果一覧

- 馬術部
- ・個人2名出場
- フェンシング部
- ・男子団体出場
 - ・個人男子（フルール）ベスト32
 - ・個人男子（エペ）ベスト16
- 拳法部
- ・男子団体出場
 - ・個人男子5名出場

魅せた！輝いた！全国大会

～祝 3団体 出場～

二〇一七年の全国大会には本校から拳法部、馬術部、フェンシング部が出場しました。

日本拳法競技は広島グリーンアリーナにて、馬術競技は北海道ノーザンホースパークにて、フェンシング競技は気仙沼市総合体育館で開催されました。

各選手とも、全国の選手を相手に全力で競技に臨みました。同窓会でも各競技代表選手への激励を行いました。



大会に向けて練習



試合前のフェンシング部

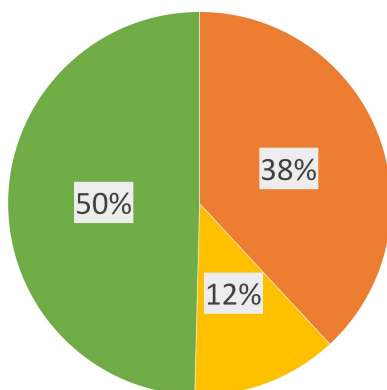


華麗なジャンプを魅せる加藤選手

3年生の進路が決定

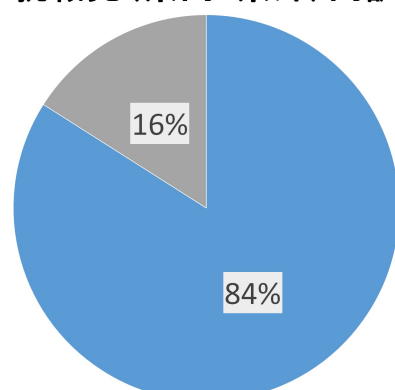
平成29年度進路先内訳

進路先内訳



■ 進学 ■ 公務員 ■ 就職

就職先(県内・県外)内訳



■ 県内就職 ■ 県外就職

平成29年度は翔陽高校始まって以来の公務員合格者延べ62人を達成しました。また、就職では県内就職率83.9%と過去最高を更新しました。

主な進路先
(詳細は学校HPで)

◎進学

- ・大分大学
- ・熊本県立大学
- ・崇城大学

◎公務員

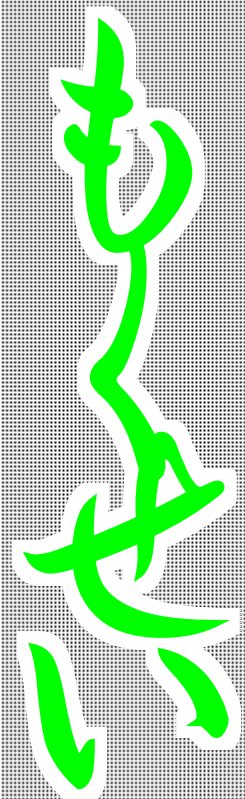
- ・国家公務員 (防衛省・国土交通省など)
- ・市町村役場 (合志市・西原村など)
- ・一般曹候補生

◎就職

- ・本田技研工業(株) 熊本製作所
- ・三菱電機(株) パワーデバイス製作所
- ・熊本キャッスルホテル



同窓会報



熊本県立翔陽高等学校
同窓会 もくせい会

〒869-1235

熊本県菊池郡大津町室1782

TEL 096-293-2055

FAX 096-294-0691

同窓会活動にご協力ください

同窓会では在校生への部活動支援や、海外研修生の派遣に力を入れています。今年は県の事業である商業関係生徒の台湾研修への補助を行いました。

皆様のご協力が、生徒の未来をよりいっそう輝かしいものにしていきます。

皆様あつての同窓会です。是非、ご協力ください。

永年会員
20,000円
(永年に渡り、会報を発送)

年会費
2,000円
(ご協力いただいた年の会報を発送)

詳しくは同窓会事務局
096-293-2055
にお尋ねください。

同窓会新聞は、学校のホームページで閲覧できます！

翔陽 熊本

で 検索 ください

「オリンピックの感動を我々の力に！」



熊本県立翔陽高等学校 同窓会
会長 宮崎 栄喜
(昭和四十八年卒)



今年の冬は例年以上に厳しい寒さが続いています。皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。昨年は私にとりまして、同窓会会長一年目の年でしたが、年間を通して実施しました各事業を学校関係者や皆様方のご協力により滞りなく無事に終了することが出来ました。この場をお借りして、お礼と感謝を申し上げます。

昨年実施しました主な内容は二月二十八日の本同窓会入会式開催(平成二十八年度は二百六十五名)、七月二十八日には役員三名で本校三年生の進路実現に向けた夏休み課外の激励及び全国大会出場部活動(日本拳法部・フェンシング部・馬術部)と海外研修に参加する生徒への奨励金授与、九月三十日に本同窓会総会の開催、十一月二十八日に芦北高校で開催された熊本県立農業関係高校同窓会

長会への出席。なお、年間を通して四回の役員会、そして本同窓会事業の各種準備を中心とした学校関係者との打合せや調整等を随時実施しました。

本校では今年も三月一日に平成二十九年度卒業式が開催され、新たに二百五十名が本同窓会会員となれるとともに、それぞれの人生への旅立ちをします。卒業生の皆様には本校で三年間学び色々な事を経験し、その中で築いてきた知識や技術、そして友人や先輩との絆を大切に、本校を卒業したという自信と自覚を持ち、自分の夢や目指す人生に向かって更に努力・邁進して頂きたいと思っています。

本同窓会は今後も「会員相互の扶助と親睦、母校の発展に寄与する」を目的として活動していきまが、本年は特に若手会員との意見交換の機会を増やし、新

たな形での会員相互の場を模索して行ければと思います。また、毎年十一月に開催されます翔陽祭に一人でも多い会員の方々が足を運んで頂けるよう、本校との検討を重ねた上で、本同窓会出店ブースを設け、「もくせい新聞」の配布や会員の方々が生産された農産物等の物品販売を企画したいと考えています。学校関係者や会員の皆様には今後ともご指導ご協力のほど宜しくお願い致します。

本年二月には韓国で冬のオリンピックが開催され、日本選手が大活躍し、国内でも多いに盛り上がりました。選手達の努力とパワー、そして盛り上がった大会での感動を自身の心に刻み、私達もこの一年を飛躍の年にしたいと思っています。

最後にになりましたが、皆様方の益々のご健康ご多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に對しご支援をいただいておりますこと。部活動の全国大会出場や生徒の海外派遣に際し、助成金や激励をいただいておりますことに重ねてお礼申し上げます。

さて、今年度も本校生徒が活躍した一年となりました。部活動では、六月の高校総体で、フェンシング競技男子団体十連覇、日本拳法競技男子団体初優勝と二本の優勝旗を手に入れました。個人では、馬術スピード&ハンディネス競技で加藤朱里さんが優勝し、三つの部活動でインターハイや全国大会に出場しました。

また、秋の新人戦でもフェンシング競技では男子団体と女子団体がW優勝、日本拳法競技は男子団体優勝、女子団体準優勝となりました。その他、野球は、春の

生徒が活躍する翔陽高校



熊本県立翔陽高等学校
第九代校長 柿下 耕一

大会で久しぶりのベスト八入りを果たしました。

三年次生も各自の進路目標に向かって努力し、その結果、国公立大学三名合格、私立大学二十五名合格、公務員三十一名合格、自衛隊三十四名合格、就職決定率九九・二%、県内就職率八三・九%と過去最高の実績を収めてくれました。進学

海外へ派遣し、グローバル人材の育成に努めていきます。

その他、多くの系列で地域と連携した取組が行われており、地震で被災した大津南小学校の花壇の修復や江藤家住宅の復旧工事を活用した授業などは、新聞やテレビでも大きく取り上げられました。

このように翔陽高校は、今、生徒が活躍する学校になり、その結果として、入試では、ここ三年、高倍率を維持し、定員割れをしない学校となりました。更に学校の魅力を高め、今まで以上に生徒が活躍する翔陽高校を目指し頑張つて参りますので、同窓会の皆様には、今後も本校に対し、変わらぬご支援をお願いいたします。

また、今年度からグローバルな視点と能力を身につけさせるため、修学旅行の訪問先を台湾に変更し、学校交流や現地大学生との班別自主行動などとおし、コミュニケーション力や英語、中国語の向上を図りました。その他、フランス・フィンランドやアメリカなどに計六名を派遣しました。今後も積極的に生徒を

立春も過ぎた二月十二日の朝、五センチメートル程の雪景色。家族で大きな「くまモン」の雪だるまを作りました。まだまだ春遠しですが、孫二人の高校進学が決まり安心していきます。私の時代は大阪農業高校、長男の時代は大阪産業高校、そして孫は翔陽高校でお世話になろうとしています。

時代が流れ、子どもたちの学ぶ内容も、情報技術を得て大きく変わりました。様々な情報が手に入る今、機器を駆使して自分の成長に活かして欲しいと願っています。

阿蘇大橋が地震で落下して、今後どのようにして生活していくと考えさせられました。商売は休み、家族力を合わせて野菜作りに取り組み、外輪山道路を走り、熊本市内での販売。「南阿蘇村の野菜を買ってください」とお願いすると、消費者の方が快く買ってください、毎月の支払いができて感謝しております。

依山トンネル・長陽大橋を早急に開通させていただき、大変便利になりました。これも国・県・村が一体となった整備のおかげであり、私は日本に生まれて良かったと感じております。世界中どこでも地震が発生しておりますが、逸早く元通りの生活ができていますのも多くの方々の協力があったことです。

災害で当たり前の生活が出来なくなったり、人との助け合い、思いやりの心で支え合って、乗り越えて行かなくてはなりません。今の子どもたちはインターネットと利用したコミュニケーションで過ごしていますが、人の温かさを忘れず、笑顔で気配りを持つ人でいてください。そして、翔陽高校で学んだことを役に立て、将来に羽ばたいて欲しいです。

もくせい会
副会長 大塚るい子

農業高校の連携で学校の活性化を！

熊本県農業関係高校 同窓会会長会開催

去る十一月二十八日(火) すが、農業関係高校の同窓会の活性化と学校の発展のために作られました。

各高校の同窓会の課題を集約し、他校の実践を皆で共有するものです。今回、会

場となった芦北高校は芦北町など地域の協力を得て、多くの地元生徒が通う学校に発展しています。学校の存続を見据えた取り組みを実践されていました。

去る十一月二十五日(土)、地元大津町で「もくせい会青年部」の立ち上げに向けた意見交換会を開催しました。

地元で活躍する二十代の卒業生を招き、卒業生とし

て何が出来たのか、そして同窓会に望むことを聞くことが出来ました。もくせい会からは宮崎会長、佐藤副会長、事務局が出席。卒業生4名と意見を交わしました。

来年度の同窓会総会での「もくせい会青年部」発足に向けた一歩となりました。

農業系系列園芸・造園の実習で新たに作られた庭園

本校が誇る日本庭園。農業系系列園芸・造園の先生・生徒の皆さんで管理されています。



農業系系列園芸・造園の実習で新たに作られた庭園



本校梅園に咲く梅



本校が誇る日本庭園。農業系系列園芸・造園の先生・生徒の皆さんで管理されています。